

景況レポート

No.146

2024年1月～3月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1

電話(代) 0157-24-7531

URL: <https://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で『13』となり、前回の調査『12』から改善しました。内訳では、製造業(前回2→今回9)は改善、非製造業(前回14→今回15)も改善でした。2024年6月までの全産業での先行き予測は6と、悪化の見通しです。

また4月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。観光は、回復している。設備投資は、持ち直している。輸出は、下げ止まりつつある。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【公共工事請負金額】 前年を上回った。

【個人消費】 百貨店は、回復している。スーパーは、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。コンビニエンスストアは、増勢が鈍化している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、弱含んでいる。サービス消費は、回復している。

【観光】 回復している。

【新設住宅着工戸数】 持家、分譲は、減少している。貸家は、緩やかに持ち直している。

【生産(鉱工業生産)】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、弱めの動きがみられる。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価(除く生鮮食品)】 前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月比拡大した。

【企業倒産】 増加している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲20と6ポイントの悪化、収益も▲24と6ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は7、収益DI値は2となり、改善の見通しとなっています。

特別調査 【中小企業における人材戦略について】

中小企業における人手不足が深刻化しています。そこで今回は「人材戦略」と題し、賃上げ動向や従業員の教育訓練の現状などについて調査しました。

【現在の人材の状況についての懸念】

「高齢化が進んでいる（57.5%）」と「若手が不足している（47.0%）」の2つが多く、多くの回答を集めました。続いて「熟練者が不足している（19.3%）」、「生産、販売現場で働く従業員が少ない（18.2%）」の順で、いずれも全国水準を上回りました。一方で、「懸念していることはない」は17.7%で、全国水準と同程度となっています。

【人材に関する今後の対応策】

「中途採用の強化」が45.3%と最も高く、「新卒採用の強化（25.4%）」を上回りました。以下、「シニア雇用（定年・再雇用）の促進（19.3%）」、「非正規社員の活用（14.9%）」が続きました。対して、「特に対応策を検討していない」は38.1%となり、全国水準を上回りました。

【人材育成におけるOJT以外の取組状況】

教育訓練の実施状況については、「実施していない」が48.6%を占め、低調な様子がうかがえます。対して、訓練を実施している企業においては、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」が25.4%と最も高く、以下「社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）」が23.8%で続きました。

【2024 年中の賃金引上げ状況】

賃金引上げ状況については、「2%以上の賃上げ実施」は34.5%と、全体の約3分の1となり、全国水準を上回りました。対して、「2%未満の賃上げ実施」は15.8%にとどまり、「賃上げ実施せず」は49.7%と約半数にのぼっています。

【2024 年問題にかかる業務への影響とその対応状況】

「大きく悪影響がある（9.0%）」と「やや悪影響がある（33.3%）」の計42.3%で悪影響を見込んでいます。対して、好影響を見込む企業は「大きく」「やや」合わせても1.7%にとどまり、「影響はない・わからない」が55.9%と過半数となっています。対応状況については、「対応を取った」が14.0%にとどまり、「必要性は感じているが対応していない」が38.4%を占めています。

【貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。】

		《全国》
1. 若手が不足している	47.0%	43.6%
2. 高齢化が進んでいる	57.5%	46.4%
3. 熟練者が不足している	19.3%	17.6%
4. 業務上必要な資格取得者が不足している	5.0%	6.0%
5. 生産、販売現場で働く従業員が少ない	18.2%	12.3%
6. 営業で働く従業員が少ない	14.9%	13.9%
7. 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない	2.8%	4.6%
8. 管理職（店長、現場監督など含む）が少ない	5.5%	6.4%
9. 規模（売上や利益）と比較して人員が多すぎる	2.8%	2.4%
0. 懸念していることはない	17.7%	17.9%

【今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つ選んでお答えください。】

		《全国》
1. 新卒採用の強化	25.4%	24.8%
2. 中途採用の強化	45.3%	47.0%
3. シニア雇用（定年・再雇用）の促進	19.3%	14.2%
4. 女性活躍推進	13.3%	12.4%
5. 非正規社員の活用	14.9%	11.4%
6. 非正規社員の正社員登用	3.9%	3.4%
7. 外国人の活用	7.7%	9.4%
8. その他	0.6%	0.9%
9. 特に対応策を検討していない	38.1%	33.4%

【貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練（OJT）以外の取組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択してください。】

		《全国》
1. 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）	23.8%	27.6%
2. 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間外）	6.1%	4.6%
3. 資格取得等、自己啓発費用の会社負担	25.4%	19.3%
4. 担当業務の定期的な異動	3.9%	2.6%
5. eラーニングの導入	1.7%	1.8%
6. 業界団体の研修に参加	19.3%	13.6%
7. 外部セミナーへの参加	12.2%	12.2%
8. 外部講師の派遣依頼	2.8%	2.2%
9. 外部出向制度の導入	0.0%	0.6%
0. 実施していない	48.6%	51.6%

【貴社では、人材定着などに向けて、2024 年中に賃金（定期昇給除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む。）しますか。引上げる方はその賃金引上げ率について、引上げない方は引上げなかった理由について、それぞれお答えください。】

		《全国》
（引上げ）		
1. 0%以上2%未満	15.8%	24.7%
2. 2%以上4%未満	21.5%	17.7%
3. 4%以上6%未満	11.3%	5.2%
4. 6%以上	1.7%	1.4%
（引上げない）		
5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	9.0%	12.6%
6. 同業や地域内の他社が上げていない	1.1%	2.2%
7. 今後の業績見通しが不透明	10.2%	13.4%
8. 売上の低迷や伸び悩み	8.5%	5.8%
9. これまでに賃金を引上げ済み	5.6%	6.1%
0. 自社に従業員はいない（家族経営など）	15.3%	11.0%

【2024 年 4 月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります（2024 年問題）。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込めますか。1～5の中から選んでお答えください。また、貴社では 2024 年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6～8の中から選んでお答えください。】

		《全国》
（影響）		
1. 大きく悪影響がある	9.0%	6.6%
2. やや悪影響がある	33.3%	25.7%
3. 影響はない・わからない	55.9%	65.8%
4. やや好影響がある	1.1%	1.6%
5. 大きく好影響がある	0.6%	0.3%
（対応）		
6. 対応を取った	14.0%	10.3%
7. 必要性は感じているが対応していない	38.4%	38.0%
8. 対応を取る必要はない	47.7%	51.7%

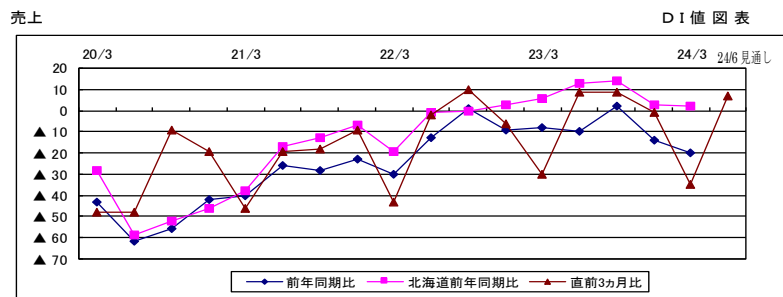
売上

調査対象先企業181社の売上を総体的にみますと、前年同期（23年1～3月）と比較して「増加」した先23%、「変らず」の先34%、「減少」した先43%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲20となり、前回調査より6ポイント悪化しました。

業種別でみますと、サービス業は改善、その他業種は全て悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



調査時期	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
北海道前年同期比	▲28	▲59	▲52	▲46	▲38	▲17	▲13	▲7	▲19	▲1	0	3	6	13	14	3	2

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
直前3ヵ月比	▲48	▲48	▲9	▲19	▲46	▲19	▲18	▲9	▲43	▲2	10	▲6	▲30	9	9	▲1	▲35

24/6見通し

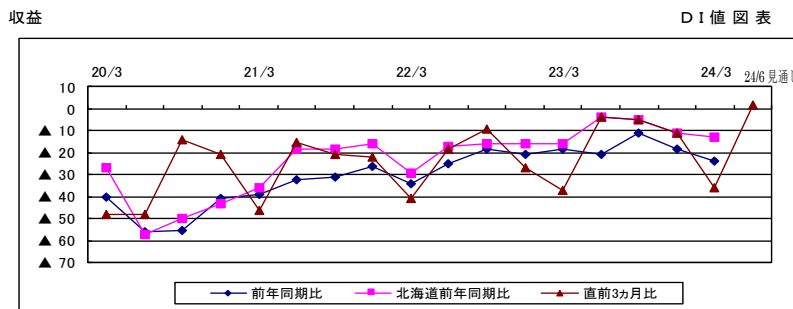
収益

調査対象先企業181社の収益を総体的にみますと、前年同期（23年1～3月）と比較して「増加」した先20%、「変らず」の先36%、「減少」した先44%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲24となり、前回調査より6ポイント悪化しました。

業種別でみますと、サービス業は改善、その他業種は全て悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



調査時期	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
北海道前年同期比	▲27	▲57	▲50	▲43	▲36	▲18	▲18	▲16	▲29	▲17	▲16	▲16	▲16	▲4	▲5	▲11	▲13

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
直前3ヵ月比	▲48	▲48	▲14	▲21	▲46	▲15	▲21	▲22	▲41	▲18	▲9	▲27	▲37	▲4	▲5	▲11	▲36

24/6見通し

概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（23年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先13%、「変らず」の先26%、「減少」した先61%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲48となり、前回調査より32ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先16%、「変らず」の先36%、「減少」した先48%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲32となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	8	10	13	▲16
	今回(24/3)	4	8	19	▲48
収益	前回(23/12)	5	14	12	▲23
	今回(24/3)	5	11	15	▲32

動向

【前年同期との比較】

売上、収益とも悪化しました。

内訳をみますと、建設の収益は横ばい、その他の収益は改善していますが、他は全般的に売上・収益ともに悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも悪化しました。

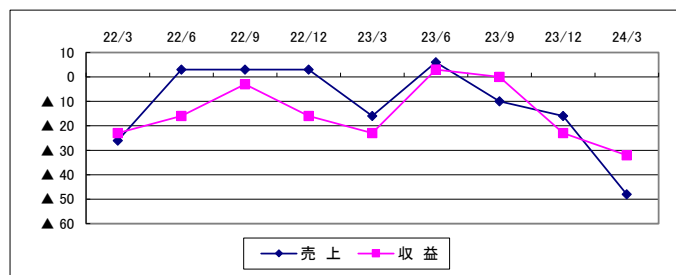
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

調査員のコメントには、「原材料価格の変動大きく収益に影響している」、「例年受注が少ない時期であるが、今後大型工事の受注があり、売上は安定推移」、「業況良好も、人材の確保に懸念あり」、「現在人材確保に努めており、処遇改善も行っている」、「従業員が高齢化しており、労働生産性を上げ、賃金を引き上げたいがなかなか難しい」といったものがありました。

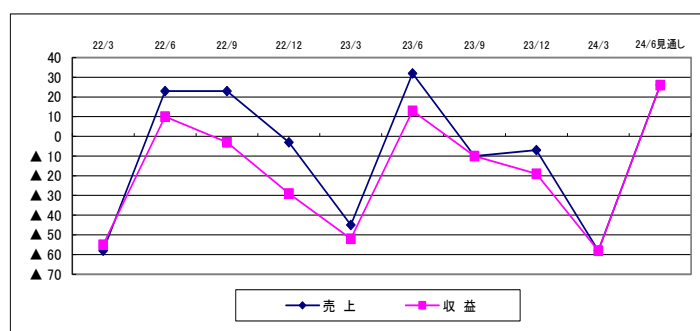
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲58	23	23	▲3	▲45	32	▲10	▲7	▲58	26
収益	▲55	10	▲3	▲29	▲52	13	▲10	▲19	▲58	26

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他
売 上 額	10月～12月と比較	▲ 58	▲ 63	▲ 89	▲ 38	▲ 33
	4月～6月の見通し	26	75	44	▲ 25	0
収 益	10月～12月と比較	▲ 58	▲ 63	▲ 89	▲ 38	▲ 33
	4月～6月の見通し	26	38	56	0	0
販売価格	10月～12月と比較	3	13	▲ 22	25	0
	4月～6月の見通し	26	13	33	50	0
原材料 価 格	10月～12月と比較	39	50	33	38	33
	4月～6月の見通し	48	50	33	75	33
原材料 在 庫	10月～12月と比較	10	13	11	13	0
	4月～6月の見通し	0	0	0	0	0
資金繰	10月～12月と比較	▲ 13	0	▲ 33	▲ 13	0
	4月～6月の見通し	▲ 13	13	▲ 33	▲ 25	0

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（23 年 1～3 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 27%、「変らず」の先 28%、「減少」した先 45%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲18 となり、前回調査より 9 ポイント悪化しました。

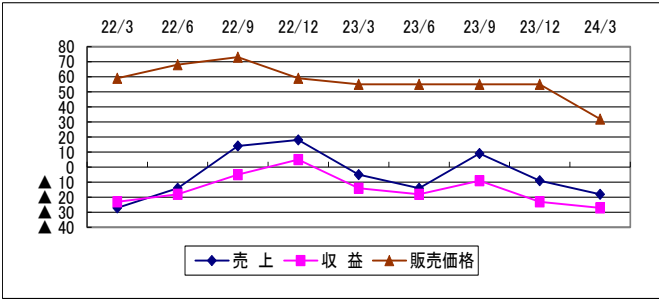
収益は「増加」した先 14%、「変らず」の先 45%、「減少」した先 41%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲27 となり、前回調査より 4 ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先 36%、「変らず」の先 60%、「減少」した先 4%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は 32 となり、前回調査より 23 ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

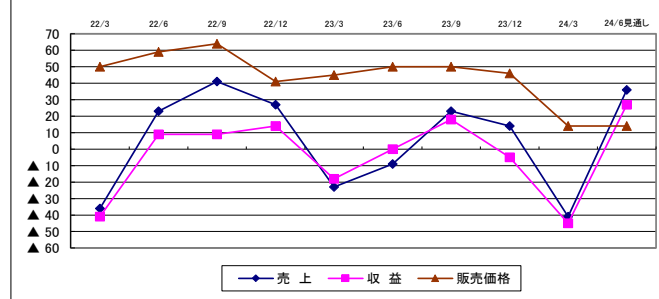
		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	5	10	7	▲9
	今回(24/3)	6	6	10	▲18
収益	前回(23/12)	2	13	7	▲23
	今回(24/3)	3	10	9	▲27
販売価格	前回(23/12)	12	10	0	55
	今回(24/3)	8	13	1	32

前年同期比 DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
売上	▲27	▲14	14	18	▲5	▲14	9	▲9	▲18
収益	▲23	▲18	▲5	5	▲14	▲18	▲9	▲23	▲27
販売価格	59	68	73	59	55	55	55	55	32

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲36	23	41	27	▲23	▲9	23	14	▲41	36
収益	▲41	9	9	14	▲18	0	18	▲5	▲45	27
販売価格	50	59	64	41	45	50	50	46	14	14

動 向

【前年同期との比較】

売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。内訳をみますと、建設の売上、収益、販売価格が大きく悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は改善、販売価格は横ばいの見通しです。

調査員のコメントには、「現在若手不在、後継も不足、情報収集に努めている」、「販売先が抱える事業承継の問題により販売先数の減少が続いており、当社収益も縮小の恐れあり」、「2024 年問題、物流コスト上昇の見通しについて価格交渉を行うものの、対応は不透明である」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	10月～12月と比較	▲41	▲17	▲78	▲14
	4月～6月の見通し	36	50	45	14
収 益	10月～12月と比較	▲45	▲50	▲67	▲14
	4月～6月の見通し	27	17	45	14
販売価格	10月～12月と比較	14	17	0	29
	4月～6月の見通し	14	0	11	29
仕入価格	10月～12月と比較	18	17	0	43
	4月～6月の見通し	14	0	11	29
在 庫	10月～12月と比較	18	33	11	14
	4月～6月の見通し	14	33	0	14
資 金 繰	10月～12月と比較	5	0	11	0
	4月～6月の見通し	9	17	11	0

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（23年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先22%、「変らず」の先36%、「減少」した先42%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲20となり、前回調査より13ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先20%、「変らず」の先36%、「減少」した先44%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲24となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

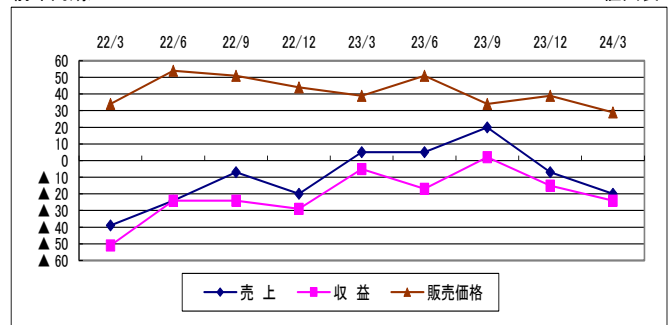
販売価格は「増加」した先34%、「変らず」の先61%、「減少」した先5%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は29となり、前回調査より10ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	13	12	16	▲7
	今回(24/3)	9	15	17	▲20
収益	前回(23/12)	11	13	17	▲15
	今回(24/3)	8	15	18	▲24
販売価格	前回(23/12)	18	21	2	39
	今回(24/3)	14	25	2	29

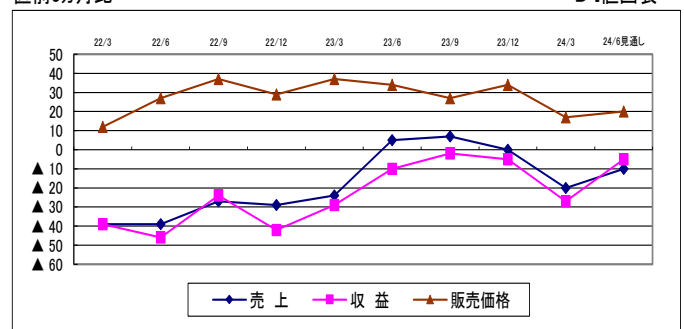
前年同期比

D I 値図表



直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲39	▲39	▲27	▲29	▲24	5	7	0	▲20	▲10
収益	▲39	▲46	▲24	▲42	▲29	▲10	▲2	▲5	▲27	▲5
販売価格	12	27	37	29	37	34	27	34	17	20

動 向

【前年同期との比較】

売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。内訳をみると、全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は改善、販売価格は上昇する見通しです。

調査員のコメントには、「年始イベントの効果もあり順調なスタート」、「飲食店からの受注が減少する中、イベントへの参加により補っている」、「コロナが5類となったが、遠方からの来店客はコロナ前ほどは回復していない」、「最低賃金が改定され人件費が増加しており、収益を圧迫している」などがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

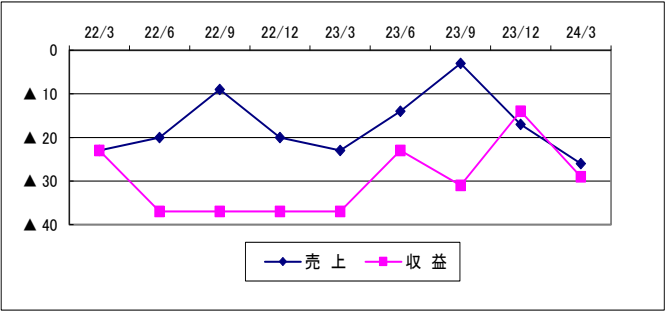
項 目	全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売 上 額	10月～12月と比較	▲20	▲83	▲29
	4月～6月の見通し	▲10	▲67	6
収 益	10月～12月と比較	▲27	▲100	▲35
	4月～6月の見通し	▲5	▲83	12
販売価格	10月～12月と比較	17	0	24
	4月～6月の見通し	20	▲17	35
仕入価格	10月～12月と比較	49	33	59
	4月～6月の見通し	39	17	47
在 庫	10月～12月と比較	▲12	▲33	▲6
	4月～6月の見通し	▲12	▲17	▲6
資金繰	10月～12月と比較	▲22	▲50	▲24
	4月～6月の見通し	▲15	▲50	▲12

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（23年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変わらず」の先28%、「減少」した先49%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先23%、「変わらず」の先25%、「減少」した先52%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より15ポイント悪化しました。

前年同期比 DI値図表

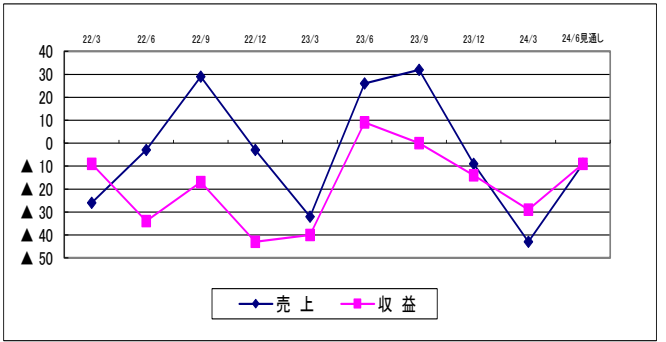


調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
売上	▲23	▲20	▲9	▲20	▲23	▲14	▲3	▲17	▲26
収益	▲23	▲37	▲37	▲37	▲37	▲23	▲31	▲14	▲29

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	11	7	17	▲17
	今回(24/3)	8	10	17	▲26
収益	前回(23/12)	10	10	15	▲14
	今回(24/3)	8	9	18	▲29

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲26	▲3	29	▲3	▲32	26	32	▲9	▲43	▲9
収益	▲9	▲34	▲17	▲43	▲40	9	0	▲14	▲29	▲9

動向

【前年同期との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲33→今回 8
- ・ 同 収益：前回▲25→今回 17
- ・ 建築売上：前回▲12→今回▲35
- ・ 同 収益：前回▲12→今回▲47

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

調査員のコメントには、「建売住宅の需要が高く、順調に推移」、「一定の受注を確保するため、営業活動を強化する」、「少子化の影響により若手の人手不足」、「資材高騰分は価格転嫁したとしても、今後2024年問題を含め利益確保が難しい」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	土 木	建 築	そ の 他
売 上 額	10月～12月と比較	▲ 43	▲ 33	▲ 41	▲ 67
	4月～6月の見通し	▲ 9	▲ 8	▲ 12	0
施 工 高	10月～12月と比較	▲ 40	▲ 33	▲ 35	▲ 67
	4月～6月の見通し	▲ 6	▲ 25	▲ 6	33
収 益	10月～12月と比較	▲ 29	▲ 8	▲ 41	▲ 33
	4月～6月の見通し	▲ 9	▲ 17	▲ 18	33
請負価格	10月～12月と比較	14	17	18	0
	4月～6月の見通し	11	17	18	▲ 17
材料価格	10月～12月と比較	63	58	77	33
	4月～6月の見通し	69	67	82	33
在 庫	10月～12月と比較	6	0	12	0
	4月～6月の見通し	3	▲ 8	12	0
資金繰	10月～12月と比較	▲ 17	▲ 33	0	▲ 33
	4月～6月の見通し	▲ 6	0	0	▲ 33

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(23年1~3月)と比較してみますと、売上で「増加」した先29%、「変らず」の先42%、「減少」した先29%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は0となり、前回調査より17ポイント改善しました。

収益は「増加」した先23%、「変らず」の先39%、「減少」した先38%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲15となり、前回調査より4ポイント改善しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(23/12)	8	27	17	▲17
	今回(24/3)	15	22	15	0
収益	前回(23/12)	6	30	16	▲19
	今回(24/3)	12	20	20	▲15

動向

【前年同期との比較】

売上、収益とも改善しました。

内訳をみますと、売上、収益とも全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも悪化しました。

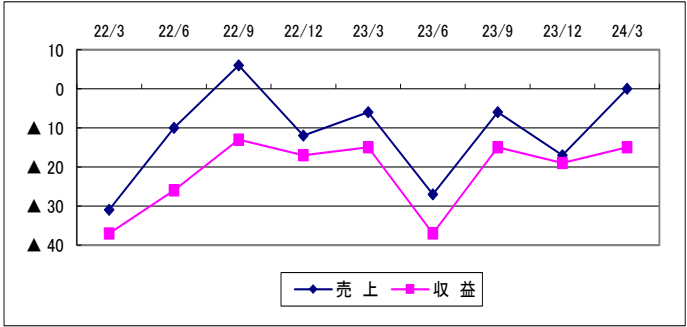
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善する見通しです。

調査員のコメントには、「人員確保できず売上高減少」、「価格改定を行い利益確保する」、「お年寄りの利用者が多い為、冬期間の客足は乏しい」、「学生の長期休暇に入ると来店増の傾向」、「人材不足によりこれまでの受注は困難、事業規模の縮小を余儀なくされている」といったものがありました。

前年同期比

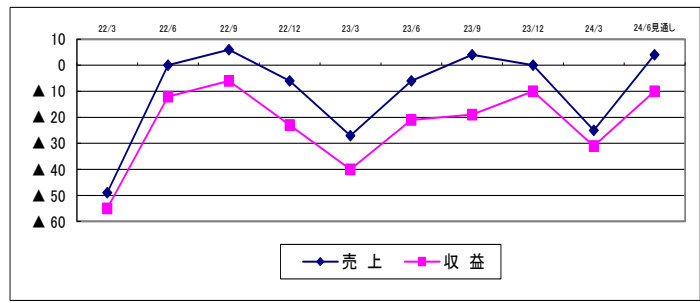
DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
売上	▲31	▲10	6	▲12	▲6	▲27	▲6	▲17	0
収益	▲37	▲26	▲13	▲17	▲15	▲37	▲15	▲19	▲15

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲49	0	6	▲6	▲27	▲6	4	0	▲25	4
収益	▲55	▲12	▲6	▲23	▲40	▲21	▲19	▲10	▲31	▲10

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	理容美容	車両関係	その他
売上額	10月~12月と比較	▲25	0	▲29	▲30
	4月~6月の見通し	4	▲13	▲22	20
収益	10月~12月と比較	▲31	▲25	▲36	▲30
	4月~6月の見通し	▲10	▲50	▲29	10
料金価格	10月~12月と比較	10	▲13	14	13
	4月~6月の見通し	27	0	14	40
材料価格	10月~12月と比較	65	75	64	63
	4月~6月の見通し	56	88	50	50
資金繰	10月~12月と比較	▲10	0	▲14	▲10
	4月~6月の見通し	▲10	▲13	▲7	▲10

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	原材料高 58.1%	売上の停滞・減少 45.2%	利幅の縮小 32.3%
卸売業	売上の停滞・減少 40.9%	利幅の縮小 36.4%	人件費の増加 31.8%
小売業	売上の停滞・減少 58.5%	商圏人口の減少 36.6%	人手不足 24.4%
建設業	材料価格の上昇 71.4%	人手不足 60.0%	売上の停滞・減少 57.1%
サービス業	材料価格の上昇 46.2%	売上の停滞・減少 42.3%	人手不足 32.7%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 64.5%	販路を広げる 48.4%	人材を確保する 38.7%
卸売業	販路を広げる 63.6%	情報力を強化する 50.0%	経費を節減する 40.9%
小売業	経費を節減する 61.0%	品揃えを改善する 43.9%	売れ筋商品を取扱う 22.0%
建設業	人材を確保する 62.9%	経費を節減する 54.3%	販路を広げる 40.0%
サービス業	経費を節減する 50.0%	販路を広げる 36.5%	人材を確保する 34.6%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方１市４町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2024年 3月
2024年 1月～ 3月期の実績および見込み
2024年 4月～ 6月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先１８１社（任意抽出）
回答企業数 １８１社
回答率 １００％
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法
各質問項目を１００分比に換算し、パーセント（％）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（ＤＩ値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート

インターネットバンキング

WEB－FB

■総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和6年1月判断）概況

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、3期連続】	⇒	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。 観光は、緩やかに持ち直している。 また、雇用は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	⇒
観光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
雇用	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒
公共事業	前年を下回る	前年を下回る	⇒
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	⇒

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
-----	--

（注）6年1月判断は、前回10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

北海道財務局北見出張所調べ